

# 第6回

## 在宅医療に役立つLiveセミナー（第2報）

日時：平成30年11月28日(水)18:30～20:00

◆本セミナー演者のご略歴および抄録は、本チラシの裏面をご参照ください。

**講演1** 18:30～19:10

### 「訪問看護と退院支援」

株式会社ケアーズ 白十字訪問看護ステーション 所長

**服部 絵美** 先生

**講演2** 19:15～20:00

### 「在宅医療における認知症」

#### — 注意点と観察ポイント —

神奈川歯科大学附属病院 認知症・高齢者総合内科 教授

藤田保健衛生大学 救急総合内科 客員教授

**眞鍋 雄太** 先生

在宅WEB「homedい」会員登録URL  
<https://homedい.eisai.jp/medical/>

主催  エーザイ株式会社

連絡先：アクセス&アウトカム本部企画推進室

TEL：03-5228-7007（戸田・村本）

# 講演 1 「訪問看護と退院支援」

白十字訪問看護ステーション 所長 服部 絵美 先生

## 服部 絵美 (はっとり えみ) 先生 プロフィール

- ・ 慶應義塾看護短期大学卒業
- ・ 癌のターミナル期の患者さんを受け持つ中で、看護師としての地域貢献を思い、東京女子医科大学看護学部へ編入
- ・ 在学中から白十字訪問看護ステーションで非常勤
- ・ 平成18年 東京都立保健科学大学研究科看護学専攻修士課程修了
- ・ 平成18年 介護支援専門員の資格を取得
- ・ 平成21年 2月より白十字訪問看護ステーション所長



### <講演 1 抄録>

地域包括ケアシステムの構築が推進されている中「時々入院、ほぼ在宅」を実現するには、入院前から退院まで、在宅と病院がともに在宅療養支援に取り組んでいくことが必要である。単に入院期間の短縮ということではなく、利用者の望む生活の実現のために、多職種・多機関との連携により利用者の意思決定を支援することが重要であると考えます。

講演では入退院支援において、訪問看護師が大切にしている視点とアプローチ方法について、実践の中からお伝えする。

# 講演 2 「在宅医療における認知症 — 注意点と観察ポイント —」

神奈川歯科大学附属病院 認知症・高齢者総合内科 教授 眞鍋 雄太 先生

## 眞鍋 雄太 (まなべ ゆうた) 先生 プロフィール

- ・ 平成13年 藤田保健衛生大学医学部医学科 卒業
- ・ 平成21年 東京都医学総合研究所秋山ラボ (神経病理学部門) 国内留学
- ・ 平成23年 藤田保健衛生大学病院総合診療内科 講師
- ・ 平成24年 順天堂高齢者医療センター/PET-CT認知症研究センター 准教授
- ・ 平成25年 横浜新都市脳神経外科病院 内科認知症診断センター 部長  
藤田保健衛生大学病院救急総合内科 客員准教授
- ・ 平成29年 藤田保健衛生大学救急総合内科 客員教授
- ・ 平成30年 神奈川歯科大学附属病院 認知症・高齢者総合内科 教授



### <講演 2 抄録>

一般的な話として、高齢者の身体予備能は青壮年期に比べ低下しており、微妙なバランスの上に“健康な状態”が成り立っている。従って、何れかの構成要素に障害が生じるとこのバランスが崩れ、不健康へのmarchingが生じることになる。

認知症患者の多くが高齢者であることから、高齢認知症患者では、上述した図式の構成要素にもう一つ、認知機能障害が加わる訳である。身体と認知機能の健康は双方向性に作用することでバランスを取っていることを考えると、認知機能障害の増悪が身体機能の低下、胸腹部内臓器疾患の増悪に関与することもあれば、身体要因が認知機能障害およびこれに付随する心理行動障害 (BPSD) の増悪に関与することにもなる。

認知症患者の診療では、こうした図式を常に念頭に置き、多面的に症状の発生要因をアセスメントすることが必要である。講演では、総合内科医の立場から、具体的かつ詳細にこのあたりについて解説する。